

1991年～2006年

『東商婦人』創刊から『東商LADY』第10号までの歩み
15年で育まれた活動の報告と情報の発信紙・誌

平成3年第一次平成不況の中『東商婦人』は東商婦人部の活動、その年の方針などを会員の皆様と多くの商工会議所会員への伝達、婦人部会員相互の情報交換など、コミュニケーション・ツールとして、「女性の時代」のパイロットとしての役割を担って産声を上げました。

年1回発行されてきた『東商婦人』は12号をかぞえ、その間には東商婦人会「45周年」「50周年」の活動報告を掲載、そのつど新しい活動の方向を紙面に展開してきました。紙面に登場した皆様は、当時の会頭をはじめ経済界、スポーツ界の著名人、文化人など、多くの方々から声を

お聞きすることができました。

また、会員の紹介や声を取り上げるなど、参加していただいている女性会員の実情を語る場も設けてまいりました。

この号で『東商LADY』が10号を迎え、東商女性会の活動を歴史の記録として残し、会員の声と情報を共有できる誌面づくりが求められています。『東商LADY』が東商女性会会員だけでなく、全国の女性会の皆様、そして新たに参加される女性経営者の皆様への情報を発信する役割を担っていくと確信しています。

『東商婦人』から『東商LADY』へ

東商婦人 創刊号



東商婦人 第2号



写真提供：飯島モト子常任顧問

1992 (平成4年)

8.31



東商婦人 第3号

1991 (平成3年)

4.30



東商婦人 創刊号

12.20



東商婦人 第2号



第25回全商婦連盛岡大会

東商女性会関連の出来事

- 全国商工会議所婦人会連合会 アメリカ視察研修会実施
- 甲府市で第7回関商婦連総会開催
- 第23回全商婦連富山大会開催
- 富士市で第8回関商婦連総会開催
- 全員参加の活動を目指し3委員会に属する6分科会を新設
- 第24回全商婦連松山大会開催

東商・世界・日本の出来事

- 会員数7万件を突破
- 湾岸戦争

1993 (平成5年)

1.10



東商婦人 第4号

1993 (平成5年)

- 稲葉興作氏が第18代会頭に就任
- 連立政権成立、平成不況

1992 (平成4年)

- 日本流処理技能マスター認定制定発足
- PKO法成立

1991 (平成3年)

- 会員数7万件を突破
- 湾岸戦争

東商婦人5号 渡辺光子

東商婦人会はこの年に新しい組織でスタート。それを機に会報紙「東商婦人」も大きなイメージチェンジをすることになりました。新役員体制、政策・研修・イベント・PR・社会問題研究の5つの分科会に再編され、新体制のご挨拶、会員の皆様から体験談などを執筆していただきました。また元検事の堀田力氏(さわやか福祉財団理事長)の事務所まで伺い「高齢社会のくらしと経済」というテーマで取材をしました。「助け合い」は生物生存の基本ですからね、という言葉が印象に残っています。

- 東京商工会議所の定款の中に婦人会組織が正式に位置づけられる
- 日立市で第9回関商婦連総会開催
- 第25回全商婦連盛岡大会開催

1997 (平成9年) 1996 (平成8年) 1995 (平成7年) 1994 (平成6年) 1993 (平成5年)



1.21 東商婦人 第9号



1.23 東商婦人 第8号



5.12 東商婦人 第7号



5.20 東商婦人 第6号 45周年記念号



11.20 東商婦人 第5号

東商婦人9号、10号は飯嶋副会長(当時)のご指導をいただき、25名の広報部会員で取り組みました。東商婦人会50周年をひかえて対外的に婦人会活動のPRに関しては、東商婦人ほかに「FUN」通信を3回発行、情報を流しました。全メンバーからは自由にご意見を戴き、打ち解けた話し合いの中で進めてまいりました。東商婦人会50周年の企画概要のほか「アイトリングストリップ運動」の提案、環境に関する作文・絵画コンクール、インターネット勉強会など、当時としては画期的な取り組みでした。

各界著名の8名の方々に「メンバー」が対して対応し、二年を展望していただき、内容も豊になりました。「私のほっとタイム」のインタビューも紙面を和ませてくださいました。会員の事業紹介・新入会員の紹介もはじめてまいりました。

東商婦人5号、8号 福原美里
編集という作業は、仕事とは関係のない初めての事なので、文字組や段組、レイアウトなどの紙面構成が私自身の勉強となりました。この広報という場で得た知識・ノウハウは、担当をさせていただいた2、3年後につくったB4判の「かわら版」(会社社顧客あて)作成のきっかけ、よいヒントになったと思います。「知っておいてよかった」というのが感想ですね。すぐ役に立ちました。広報での経験がこの自社の「かわら版」を出す勇気を生み出してくれたのだと思います。

東商婦人6号 渡辺光子
この号は「東商婦人会45周年記念」号となりました。45周年記念式典に配布するという事で、小泉清子会長(当時)のご挨拶にあわせて当時の東京都知事鈴木俊一氏、東京商工会議所会頭の稲葉興作氏からお祝いのお言葉をいただきました。最も大変な作業が「45年の歩み」の年表作りでした。節目、節目の写真の収集を先輩会員からお借りしたり、その当時のお話を聞かせていただくなどの協力をいただき、制作費が足りなそうだったということで、東商会員企業24社に広告を出していただき、制作費に充当して出来上がりました。

記念座談会として「女性経営者に期待する」というテーマで当時の(株)セゾンコーポレーション会長の堤清二氏、多摩大学学長の野田天氏、テレビ東京解説員の篠原文也氏、マンガ家の美内すずえ氏と、内容の濃い討論が展開されました。司会は吉川稲美副会長(現)が務めました。ほかに45周年に因んで「企業ボランティアのあり方」「会員の声」など、盛りだくさんの記事内容になりました。

最後にこの会報が出来上がる直前にトラブルがあり、記念式典の当日に届いたという出来事があり、大変苦労の多い作業でした。しかし担当したメンバーの団結と達成感を味わえた経験は、今でも思い出に残っています。担当したメンバー一同、大変でしたが頑張りました。

- 東商婦人9号、10号は飯嶋副会長(当時)のご指導をいただき、25名の広報部会員で取り組みました。
- 東商婦人会50周年をひかえて対外的に婦人会活動のPRに関しては、東商婦人ほかに「FUN」通信を3回発行、情報を流しました。
- 全メンバーからは自由にご意見を戴き、打ち解けた話し合いの中で進めてまいりました。
- 東商婦人会50周年の企画概要のほか「アイトリングストリップ運動」の提案、環境に関する作文・絵画コンクール、インターネット勉強会など、当時としては画期的な取り組みでした。
- 各界著名の8名の方々に「メンバー」が対して対応し、二年を展望していただき、内容も豊になりました。
- 「私のほっとタイム」のインタビューも紙面を和ませてくださいました。
- 会員の事業紹介・新入会員の紹介もはじめてまいりました。

- 阪神・淡路大震災義援金を寄付
- 横浜市で第11回関商婦連総会開催
- 第27回全商婦連大阪大会開催

- 東京全日空ホテルで創立45周年記念式典開催
- 日光地区(日光市)で第10回関商婦連総会開催
- 第26回全商婦連岡山大会開催

1997 (平成9年) 1996 (平成8年) 1995 (平成7年) 1994 (平成6年) 1993 (平成5年)

- 消費税5%に引き上げ

- EU英国産牛肉全面禁輸入決定

- 初の会員大会(商工会議所制度発祥120周年記念式典)を東京ドームで挙行、東京商工会議所宣言を採択
- 阪神・淡路大震災、地下鉄サリン事件

- 会員のための研修・交流施設「蓼科フォーラム」がオープン
- 円が1ドル1100円を突破

- 中小企業の情報化支援のための「東商ビジネスネット」事業を開始、会員向け福利厚生サービスClubCCI「パフェプラン」がスタート

『東商婦人』から『東商LADY』へ

2001 (平成13年) 2000 (平成12年) 1999 (平成11年) 1998 (平成10年)



10.5
東商LADY 創刊号
山口信夫日商・東商会頭(旭化成株式会社社長)より「健康な日本の創造を目指して」と題したご挨拶と、女性経営者が持つ豊かな感性とバイタリティーあふれる行動力が新世紀を担う原動力になる、との励ましの言葉に感激。また、斉藤朝子会長から「濃として変革の力」を寄稿頂き、パワーアップ2001の組織基盤強化が発表されました。



1.26
東商婦人 第12号
東商園遊会



1.28
東商婦人 第11号
第32回 全商婦連横浜大会



1.23
東商婦人 第10号
東商婦人 11号 小林栄子

「時代の流れを取り入れ、内容を少し変更していこう」という事、さらに婦人部をPRして「東商婦人部50周年」に向けて会員募集を行い、若い人たちと交流したい、という思いを持って小泉清子会長(当時)よりの提案もあり、新しい広報紙になるように工夫をしました。小泉清子会長(当時)の「本音」でことある。経営者が「本音」で付き合う。というテーマを示してくださり、皆さんから原稿をいただきました。50周年の記念事業が終わり、新体制がスタート。この時期には3分科会ができ、会員の活動充実を紙面でお伝えしてきました。こうして、前向きな女性会の歩みをつくるという考えが、広報紙の充実につながったと思われまます。

「東商婦人」から『東商LADY』へ
情報広報委員・井上象英
当時私は、交流・広報担当委員長でした。常任理事と言いつつ任をお受けして、始めての会議に於いて委員長としての広報活動計画「3つの指針」を提案させて頂きました。其れは ①会員相互の交流を図る ②女性会のデータバンク化 ③女性会の広報PR活動です。
創立50年を迎えたこの年、齋藤会長のもと「新生女性会」として対外的にも様々な取り組みを検討するに当たって「心と心をつなぐ」プロジェクトを立ち上げたのです。
企画案には「東商女性誌」年2回(春秋)の発行がありました。この時のテーマは「情報の記録と反映」です。会員相互の意見を反映させ、委員会全員で作上げる予定でした。当時は交流委員会も同時に担当していたので、新年会や旅行会、関商婦連(当時の呼称)などと企画進行事項が多岐にわたり、広報への検討委員会そのものが紛糾してしまつことも多く、68名の委員全員で取り組むことは大変難しかった。そこで考えたのが、広報分野に明るく人材、そして広報活動に興味のある委員を自薦他薦で募集したのです。
つまり、交流・広報委員会を交流グループと広報グループに分ける提案をしたわけです。有難いことに有志が13人も集まりました。しかし皆様は自社の職業分野では無いため、編集や印刷に関しては専門家を：と言う結論に達しました。そこで、広報グループの委員のご紹介でボランティア現に富んだ編集会社(当時は予算が少なかつたので)に協力を求めました。企画・取材記事の執筆、写真など、委員は全てが新鮮な体験でした。

東商女性会関連の出来事

- 前橋市で第14回関商婦連総会開催
- 第30回全商婦連千葉(幕張)大会開催
- 熱海市で第15回関商婦連総会開催
- 第31回全商婦連高知大会開催
- ホテルニューオータニで東商婦人会創立50周年記念事業及び国際女性経営者フォーラムを開催

- 成田市で第16回関商女性連総会開催
- 第32回全商婦連横浜大会開催
- 斎藤朝子会長のもと新生女性会スタート。小泉清子前会長は名誉会長に
- 「婦人」の文字を「女性」に変更
- 浦和市で第17回関商女性連総会開催
- 東商女性会会員増強推進運動「パワーアップ2001」実施
- 第33回全商女性連岐阜早大会開催

東商・世界・日本の出来事

- 東商M&Aサポートシステム開始、生活・福祉環境づくり21を設立
- 長銀戦後初の民間銀行国有化、長野オリンピック(冬期)導入
- 会員数10万件突破、福祉住環境コーデインター検定試験を創設
- EU単一通貨ユーロ11ヶ国に導入

- 東商テクノネット事業開始
- 九州/沖縄サミット、有珠山・三宅島噴火
- 太平洋経済委員会(PBEC)東京国際総会を開催、教育支援ネットワークを開設
- アメリカ同時多発テロ事件、中国WTOに正式加盟
- 山口信夫氏が第19代会頭に就任

2001 (平成13年) 2000 (平成12年) 1999 (平成11年) 1998 (平成10年)

| 2005 (平成17年) | 2004 (平成16年) | 2003 (平成15年) | 2002 (平成14年) |
|---|---|---|--|
| <p>4.1 東商LADY 第8号</p>  <p>新体制のスタートを特集。第36回全国商工会議所女性会連合会東京総会を総力を上げて取材。小泉清子全商女性連会長退任の挨拶、記念座談会を誌上にて再現。「ぶらり東京の旅」連載開始。この号からメディアに登場した会員の紹介コーナーを開設しました。</p> | <p>4.1 東商LADY 第6号</p>  <p>特集は関東商工会議所女性会連合会・東京商工会議所女性会共催の「筑紫哲也氏講演会」に、ジャーナリストとしての立場からグローバルな時代に緩急自在の生き方を提言して頂きました。</p> | <p>4.15 東商LADY 第4号</p>  <p>スペシャルコーナーは「人に歴史あり」です。ご登場は、小泉清子名誉会長。その沿革を求めて取材をさせて頂き、(株)鈴乃屋の歴史をたっぷり語って頂きました。</p> | <p>4.5 東商LADY 第2号</p>  <p>スペシャル特集「歴史を語る」で、座談会を企画。小泉清子名誉会長はじめ飯嶋モト子常任顧問、谷静子相談役、齋藤朝子会長にご出席頂き、伝統ある女性会の歴史と楽しい思い出をお聞かせ頂きました。</p> |
| <p>10.1 東商LADY 第9号</p>  <p>東商女性会少子化問題委員会発足を巻頭記事に。関東商工会議所女性会連合会東京総会、パワーアップ05-07などの活動報告が満載。関東商工会議所女性会連合会東京総会での石原東京都知事の特別講演を掲載。</p> | <p>10.1 東商LADY 第7号</p>  <p>今号は、創立55周年記念事業にスポットを当て、「東商女性会55年の歩み」全体を構成編集。また、今後の女性会活動に向け、齋藤朝子会長と吉川稲美副会長を囲んだ座談会も掲載しました。</p> | <p>10.1 東商LADY 第5号</p>  <p>広報委員も蓼科フォーラムのセミナー(一泊二日)に参加して取材記事を掲載。会場にパソコンを持ち込み、初めて同時取材をしました。この号から、編集の基礎データが決まり、今日のスタイルになりました。</p> | <p>10.5 東商LADY 第3号</p>  <p>経営問題委員会の活動特別レポート「女性経営者の資金調達」に的を絞った取材が大変好評。また、社会問題委員会での研究テーマ「食育」では提言内容も折り込まれ、研究の成果が大いに評価されました。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ○少子化問題委員会発足 ○東京で第21回関東女性連総会開催 ○第37回全商女性連名古屋総会開催 ○東商女性会会員増強推進運動パワーアップ2005'07実施 | <ul style="list-style-type: none"> ○関東女性連・東商女性連共催で筑紫哲也氏講演会開催、創立55周年記念事業開催 ○第20回関東女性連総会開催 ○第36回全商女性連東京総会開催 ○関東女性連と共催で宮尾登美子氏講演会を開催 | <ul style="list-style-type: none"> ○蓼科フォーラムで2泊3日セミナー開催 ○組織再編で現在の3担当制になる ○宇都宮市で第19回関東女性連総会開催 ○第35回全商女性連青森大会開催 | <ul style="list-style-type: none"> ○土浦市で第18回関東女性連総会開催 ○第34回全商女性連福岡大会開催、「女性起業家大賞」創設 ○社会問題委員会「食育」について提言 |
| 2005 (平成17年) | 2004 (平成16年) | 2003 (平成15年) | 2002 (平成14年) |
| <ul style="list-style-type: none"> ○メキシコ経済連携協定(EPA)発効に伴う特定原産地証明書 の発給を開始 ○日本国際博覧会(愛知万博) | <ul style="list-style-type: none"> ○アテネオリンピック ○「メンバーズビジネスローン」開始 | <ul style="list-style-type: none"> ○江戸開府400年事業「オープニングセレモニー」開催、東京都中小企業再生支援協議会を設置、第一回「勇気ある経営大賞」受賞企業を表彰、月刊情報ガイド「ツインアーチ」創刊 ○イラク戦争、日本郵政公社発足 | <ul style="list-style-type: none"> ○東商政策フォーラムを初開催、中小企業顕彰制度「勇気ある経営大賞を創設」 ○欧州単一通貨ユーロ流通開始、2002 F I F A ワールドカップ開催 |

会長・副会長の挨拶と今後の方針



さらなる「躍進」をめざして

会長 齋藤 朝子

2006年を迎え、皆様は気持ちも新たに今年も前向きに、公私ともに張り切っておいでのことと存じます。

昨年わが国では、子供の出生率が過去最低を更新するとともに、総人口が初めて減少するなど、これまで経験したことのない少子高齢化そして人口減社会に突入いたしました。

さらに経済のグローバル化、高度情報化など社会経済情勢が急速に進展するなかで、女性を取り巻く環境も急激に変わり、女性の活躍が必須の状況になってまいりました。

東京商工会議所活動の一翼を担う組織として位置付けられている東商女性会としても、女性の視点からの意見具申や政策提言等の活動をより一層強化し、男女共同参画社会に相応しい社会の実現に向けて皆様と共に努力してまいりたいと存じます。

昨秋、ジェトロ厚生会主催の中国視察ミッションがあり、全国の女性会の方々とともに私も团长として参加いたしました。中国では私企業が認められてから僅か十数年の間に、全経営者の約20%を女性が占める状況となっていたことには大変驚かされました。現在の日本では僅か5%です。

日本の女性が持つポテンシャルを発揮し、活躍することができるとして、今後とも皆様のご意見やご提案を取り入れつつ、さらなる躍進を目指して参りたいと思っております。



今こそ女性経営者の活躍を

副会長 吉川 稲美

この度の耐震偽造やライブドアなどの一連の事件に象徴されるように、今、経営者がどのよう「目的」を持ち「何を座標軸にして価値判断をするのか」経営トップのリーダーシップや、経営理念・企業倫理が問われております。

女性会の活動を通してお互いに交流の輪を広げながら、また学びあいなから「女性の特質」を生かした活動が出来ましたらと思っております。その為にも一人でも多くの会員の皆様に積極的に女性会の活動に参加して頂き、幅広い意見を集約し、女性会の力として発揮していくこと、そして私が担当しております少子化問題委員会におきましては実効性のある提言をまとめ、政策への反映をも目指したいと思っております。

健全なる女性経営者の力を結集させて参りましょう。本年度もどうぞよろしくお願ひ致します。



2006年活動思考—女性役員のパワーを

副会長 山崎 登美子

本年も輝かしい年をお迎える事とお喜び申し上げます。

昨年より東商女性会は組織基盤強化のためのパワーアップ運動を行っております。私は文京区、足立区、台東区、北区を担当しておりますが、各地区会員皆様の意欲的な活動で、少しずつ成果が現れているように思われます。本年も引き続き気持ちのこもった行動をして、運動を盛り上げたいと考えています。各地区の皆様にも益々積極的なご協力をお願いいたします。いま各地区の新年会や役員、会長もお考えの地区女性役員増強活動です。今年も各地区の新年会や役員、会等にも出席し、活発な活動を拝見する中で、気になることは女性役員が少ないことです。今年も女性会、各地区の女性役員増強をテーマに取り上げてみてはと考えています。

今年も皆様と力を合わせて一生懸命活動させて戴きます。何卒ご協力お願い申し上げます。

魅力ある、開かれた女性会を皆様と共に

副会長 山野 壽子



昨年より組織基盤強化活動がスタートしました。会員を増やすことは、組織の強化や事業の充実した強固な女性会を実現していくステップです。そのために、会員の皆様は『交流』『研修』『情報・広報』の三委員会へ、積極的に参加していただく事が不可欠となります。多くの方が参加していただける「魅力ある、開かれた女性会」を皆様と共につくっていきたく思います。微力ではありますが、その為のお手伝いをさせていただきますと思っております。皆様、まず会員の交流からはじめませんか？そしてネットワークを広げましょう。是非、一緒に活動へ参加してください。

「日本経済は、ゆっくりではあります、しつかりとした回復へ向かっている」という政府からの発表がありました。この回復が確かなものとなるように、女性の持つパワーを大いに発揮してまいりましょう。この1年、どうぞよろしくお願い致します。

二十一世紀の社会に向けて

副会長 安間 百合子



戦後六十年、還暦を迎えた日本は経済的には確かに豊かになりましたが、想像を絶するような事件・犯罪が多発している現状を考えると、この六十年で私達の心性から大事な部分が抜け落ちてしまったのではないかと憂慮しております。この欠落を何とかして埋めてゆくのも私達に課せられた使命の一つではないでしょうか。

さて、予想よりも早く人口減少の時代に入ってしまったが、この国を再活性化すべく、次世代育成のための支援に今こそ真剣に取り組まなければならぬと思います。女性会としては昨年度立ち上げた少子化問題委員会を更に充実させることは勿論、昨年施行された「食育基本法」に基づく健全な食生活に向けての改革を推進してまいりたいと思っております。東商女性会があらゆる面で社会に貢献しうる存在になるよう、積極的に活動してまいりますので、会員の皆様には更なるご支援、ご協力をお願い致します。

企業間の連携で新しいビジネスチャンス

副会長 渡辺 光子



わが国の経済界、産業界、社会全体が「何かおかしい」「これからどうなるの」という感じがするなかで、最近のニュースで財界人や有識者が、お金は「汗水たらして」得るものだと口を叩いているのを聞きます。まさしく東商女性会の経営者たちは「汗水たらして」時間を惜しんで良く働き頑張っています。さらに東商女性会の活動にも惜しみない働きをしています。欧米では、社会貢献型企業がとても良い業績をあげていると聞きます。成熟社会に入ったわが国においても、人や環境にやさしい商品、質の高いサービスと情報、時代が求める人材などが求められています。一方で生活者が求めるニーズが多様化している昨今、企業同士が連携をとり、知恵やノウハウを出し合い、新しいビジネスを生み出していく時代が到来していると思えます。それを実現できるのが、わが東商女性会であると思えます。

組織基盤強化活動600会員を目指して

副会長 小林 栄子



新体制となりました会員の皆様は全力投球で組織基盤強化活動に協力の事、誠に素晴らしい姿勢であると思っております。

景気の歩みは着実なものとなりつつあると思いますが、一方で、中小企業は不安定な経営環境に居る様な気も致します。

しかし私達の東京には巨大なマーケット、優れた特長性があります。ネットワークを構築して女性会広場で交流を図り活発な強化活動をしていきたいと思っております。それには一企業ごとの体力の充実が大優先でないかと思っております。会員企業間連携の促進を計り目標会員数600以上を目指します。入会後は会活動に意欲をもって参加出来る女性会でありたいと思っております。日本の中心である東京の女性会として世界に飛翔して行きましょう。

「飛翔」は私の大好きな格言です。各企業の益々の活躍、発展を祈念し、会員皆様方には御自愛専一にお励み下さることを祈ります。